

## 定例会議会議録

開催日時	令和7年11月5日（水）午前10時00分～午前11時45分	
開催場所	特別会議室、公安委員会室	
区分	『全体会議』議題・要旨	主管部
【報告事項】	<p><b>1 監察の実施状況等について（令和7年度上半期）</b></p> <p>監察は、警察庁訓令に基づき、例年警察庁が年1回、東北管区警察局が年2回、都道府県警察を対象に行うものである。このうち、警察庁による監察は今年9月に行われ、その結果については、まだ警察庁から通知されていないものの、改善を求めるような特段の指摘を受けることはなかった。</p> <p>次に、東北管区警察局による監察の受監状況については、6月にリカバリー教養の実施状況を中心に受監している。リカバリー教養とは、失敗に対して適切な対処法を理解することで非違事案防止や失敗を過度に恐れない前向きな職場環境の構築を図るための教養であり、受監の結果、いずれも適正に推進されているとの評価であった。</p> <p>県警察における監察の実施状況については、5月から8月にかけて、各部門ごとに警察署に対する業務指導を実施している。</p> <p>随時に行う監察については、上半期は本部の全所属に対する監察の他、全警察署の当直及び116ヶ所の交番駐在所に対し、休日夜間を含めた抜き打ち型の監察を実施している。</p> <p>その結果、ほとんどの所属や交番等において特段の指摘事項はなく、緊張感を含め適正な業務実態を確認したところであるが、給貸与品を正しく装着していないなどの一部不適切な例も散見されたので、その都度是正措置を講じるとともに、所属長と幹部による適正な指導監督を促している。</p> <p>下半期の取り組みについては先般、公安委員にも視察していただいたが、業務運営の実態を把握する業務監察、職務倫理教養や身上指導監督の状況などを把握する服務監察、術科訓練の実施状況を把握する術科監察について、全警察署に対して実施している。これに加え、第一線の緊張感維持に資する随時の監察を適時適切に実施していく他、引き続き職責の自覚と高い職務倫理の涵養に向けた各種研修や教養などの取組を推進し、非違事案防止の取組を強化していく。</p> <p>委員：業務指導とは例えば警察署の地域課などに警察本部の地域部の者が様々な指導と行うという認識でいいのか。</p> <p>首席監察官：その通り。警察本部の各部門の監察担当者や業務担当者が訪問し、指導を行うものである。</p> <p>委員：リカバリー教養とはコンプライアンス勉強会のような認識でよいか。</p> <p>首席監察官：リカバリー教養とは業務上や私生活上の失敗があった際にそれを隠すことによってより大きな事案に発展しないように初期に失敗を申告して正しい方向に修正するという教養とその知識を取得してもらう取組である。</p> <p>委員：とてもいい取組と感じた。また、部下が失敗を申告した際に上司の受け止め方も重要なと思うが、その心構えのような教養も行っているのか。</p> <p>首席監察官：リカバリー教養はミスをする職員だけではなく、その上司に対しても働きやすい職場環境を構築す</p>	警務部

る上でミスを寛容な心でカバーするという心構えについても含まれている。

警務部長：かつて警察官は失敗してはならないという風潮があり、それがゆえに失敗を覆い隠すということがあったので、風通しの良い職場づくりの上でも人間誰でも失敗があり、それを申告しやすくして適切な方向に戻していくところに力を入れている。

委 員：随時に行う監察のうち、前年同期比を大きく下回っている対象があるが、これは年間を通して改善していくものなのか。

首席監察官：その通り。挽回すべく実施していく予定である。

委 員：随時に行う監察の結果において、前年度に比べて改善したようなところはあるか。

首席監察官：年ごとに勤務状況の善し悪しが大きく変化するわけではないが、強いて言えば、昨年来、深夜の随時監察等を行ってきたことで、交番勤務員等の来所者に向けた緊張感が高まっている印象がある。

委 員：実施状況の中で装備品の未装着の話があったが、以前県警でトイレに拳銃を置き忘れたという事案が実際にあったので、引き続き、小さな油断も見逃さずにチェックしていただきたい。

首席監察官：承知した。

## 2 SNS広報事業の実施について

生活安全部

特殊詐欺とSNS型投資ロマンス詐欺の被害は9月末現在で認知件数が426件、前年同期比で-5件、被害金額が約26億円、前年同期比で+4億円という、引き続き深刻な状況にある。

特殊詐欺では警察官騙りを中心とするオレオレ詐欺が前年同期比で+55件と、急増している。被害の端緒は従来多数を占めていた固定電話よりも、最近は携帯電話が増え、拮抗してきているという状況である。被害者の年齢層は、65歳以上の高齢者よりも若者など現役世代が増えてきており、過半数を超えている状況にある。同じようにSNS型の詐欺では、ロマンス型の投資詐欺が前年同期比で+13件と増加傾向にあり、被害の端緒はSNSが99件と全体の67%を占め、さらにSNSの内訳についてはインスタグラムが最多となっている。被害者の年齢層は、40代、50代が最も多く、全体の約5割を占める状況にある。

こうした被害実態に即して、今回SNSによる広報事業を実施するというものである。インターネット上で最も利用率が高い動画配信サイトのYouTubeとSNS型投資ロマンス詐欺の端緒で最も多いインスタグラムにおいて、特殊詐欺等の動画広告を配信し、手口を周知して注意喚起を呼びかけるものである。なお、本件の広告は、県内居住者に優先的に広告されるようにタグが設定されている。配信する動画広告については、動画広告に宮城県出身でSOS47警察庁特別防犯支援官に任命されているアイドルグループ乃木坂46メンバーの久保史緒里さん及びみやぎ防犯広報大使の萌江さんの両名に御出演をいただいている。動画広告は、本年増加している手口であるニセ警察詐欺編とSNS型ロマンス詐欺編の2種類で被害に遭う模様、被害に遭わないための対策を30秒間で解説し、注意喚起する内容となっている。動画広告の配信スケジュールについては、10月24日から3ヶ月間で計画し、先行してYouTubeで2ヶ月間、1ヶ月ずらしてインスタグラムで2ヶ月間配信する予定である。乃木坂46の公式ホームページにもアップしていただき、

初日から再生回数が1万回を超える、3日間で2万回を超えていく状況である。二次利用としてこの3ヶ月間において生活安全企画課のYou Tube等で配信を行うほか、警察署や運転免許センター、ショッピングモールなどのデジタルサイネージを利用して積極的な広報を行っていく予定である。

委 員：二次利用はデータをもらいサイネージ等で流すということか。

生活安全部長：その通り。二次利用についてはこれまでテレビCMなどで行っていたが、今回出演いただいた久保史緒里さんが今月末で乃木坂46を卒業するとのことで、事務所側の事情もあり二次利用は今回の期間中のみとなっている。しかし、逆に久保さんが今月卒業ということで注目も集まっていることから、短期間ではあるものの、集中的な広報を行う予定である。

委 員：今回の動画は委託して作成したのか。

生活安全部長：その通り。プロポーザル方式により、プレゼンテーション公募を行い、その中から審査して今回の制作会社に作成を依頼している。

委 員：広報動画のターゲットは若者ということか。

生活安全部長：その通り。従来特殊詐欺は高齢者の被害が多かつたが、最近は20代も増加している。また、固定電話より携帯電話を端緒とするものが増加しており若者に目を向けつつ、中高年世代に対しても幅広く注意喚起できればと考えている。

委 員：幅広い年齢層をターゲットにした良い取組だと感じた。

本 部 長：インスタグラムがSNS型ロマンス詐欺の最初のツールとして使われる場合が多く、それに騙される可能性のある人にターゲットを絞っている。

委 員：今回の広報動画を詐欺のために悪用する者ができる可能性もあるため、今後、類似動画をチェックすることも必要なのではないか。

生活安全部長：被疑者もあらゆる犯行ツールを使用して犯行しているため、そのような動画があれば適切に対処していく。

区 分	『個 別 審 議 等 会 議』	
【決裁事項】	1 苦情の受理について 2 保有個人情報開示請求書の受理及び保有個人情報の開示をする旨の決定について 3 行政文書開示請求書の受理及び行政文書の開示をしない旨の決定について 4 道路交通法の規定に基づく意見の聴取等	総務課 総務課 総務課 運転免許課
【報告事項】	1 公益通報の受理について 2 宮城県殉職警察職員慰靈祭の挙行について	広報相談課 厚生課